



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス
コード番号 3591 URL <http://www.wacoalholdings.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 能交

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 宮城 晃

TEL 075-682-1010

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	149,019	△3.2	11,175	△12.0	16,543	16.4	12,085	20.5
28年3月期第3四半期	154,017	7.0	12,692	109.9	14,213	66.4	10,027	78.1

(注)四半期包括利益 29年3月期第3四半期 9,834百万円 (△3.0%) 28年3月期第3四半期 10,138百万円 (△48.3%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	86.73	86.47
28年3月期第3四半期	71.19	70.99

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	294,994	231,951	227,317	77.1	1,640.24
28年3月期	292,854	229,401	224,374	76.6	1,592.90

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	33.00	33.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	33.00	33.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	198,000	△2.4	10,500	△24.3	14,500	△3.1	11,000	△1.4	78.94	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	143,378,085 株	28年3月期	143,378,085 株
29年3月期3Q	4,790,075 株	28年3月期	2,519,350 株
29年3月期3Q	139,340,406 株	28年3月期3Q	140,839,694 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書	P. 8
(3) 四半期連結包括損益計算書	P. 8
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10
(6) 販売の状況	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

①当第3四半期の業績

当社グループでは、本年を初年度とした新しい中期経営計画（2016～2018年度）がスタートしました。グループ経営基盤の整備を土台に、国内事業における収益の確保、海外事業のさらなる成長、グループ内でのシナジー発揮と競争力の強化、事業ポートフォリオ拡大への挑戦という5つの基本方針に沿って、収益性と事業効率の向上を図る一方、効果的な資本政策を遂行して企業価値の向上を目指します。

これらの取り組みによる、当社グループの当第3四半期の連結業績は、売上面では、国内事業の主力会社である株式会社ワコールの直営店事業は順調に推移しました。しかし、百貨店や量販店を中心としたレディースインナーの卸事業が上半期は堅調に推移したものの、秋冬商戦で伸び悩んだため、国内事業は前年同期並みとなりました。また、海外事業につきましては、アメリカやヨーロッパは堅調に推移し、中国における売上は前年並みに留まったものの、為替の影響により売上が減少しました。この結果、グループ全体の売上高は前年同期を下回りました。利益面では、国内事業の販管費増加や在仏国子会社の更生手続関連費用の計上により、全体の営業利益は前年同期を下回りましたが、当初計画は上回りました。なお、当第1四半期に計上した固定資産（土地）の譲渡による売却益のため、税引前四半期純利益は前年同期を大きく上回りました。

●売上高	1,490億19百万円	（前年同期比	3.2%減）
●営業利益	111億75百万円	（前年同期比	12.0%減）
●税引前四半期純利益	165億43百万円	（前年同期比	16.4%増）
●当社株主に帰属する四半期純利益	120億85百万円	（前年同期比	20.5%増）

②オペレーティング・セグメントの営業概況

a. ワコール事業（国内）

国内事業においては、株式会社ワコールのワコールブランド事業本部につきましては、快適性と機能性を両立させたブラジャーやガードルが消費者の支持を得て、売上を牽引しました。しかし、秋冬物の肌着や高級ブランド商品が苦戦したため、事業本部全体の売上は前年同期並みとなりました。

ウイングブランド事業本部につきましては、主力商品のブラジャーが好調を維持し、店頭売上は堅調に推移しました。しかしながら、店頭在庫の調整が影響し、事業本部全体の売上は前年同期を下回りました。

小売事業本部につきましては、直営店「AMPHI（アンフィ）」は、既存店での客数の減少が続くなか、個別別販促により客単価が上がり、売上は前年同期を上回りました。また、直営ショップブランドの共通商材を幅広く展開したことに加え、出退店の見直しに取り組んだことが、売上拡大及び収益改善につながりました。これらの結果、事業本部全体の売上は前年同期を上回りました。

ウエルネス事業部につきましては、スポーツコンディショニングウェア「CW-X（シーダブリューエックス）」は、スポーツブラは順調に売上を伸ばしているものの、主力の機能性タイツが、秋冬以降苦戦しました。加えて、デイリーユース向け商品の不振やアメリカ向けの販売が低調に推移したため、事業部全体の売上は前年同期を下回りました。

通信販売事業部につきましては、ウェブストアは、スマートフォンユーザー向けの利便性を向上したサイトリニューアルやSNSを活用した月別販促策により来訪客数が増加し、売上は前年同期を上回りましたが、カタログ販売は、シーズンを通して苦戦しました。これらの結果、事業部全体の売上は前年同期を下回りました。

株式会社A i（アイ）につきましては、下着事業は、新規出店により売上が拡大しましたが、主力の水着事業については、季節型店舗の営業期間の延長やECサイトの売上増加などにより実需期の不振を補ったものの、全体の売上は前年同期並みとなりました。

以上の結果、主力事業会社ワコールの売上減少により、ワコール事業（国内）セグメント全体の売上高は、前年同期並みとなりました。利益面につきましても、株式会社ワコールにおける、退職給付費用や税制改正に伴う外形標準課税の増加、また、新京都ビル営業開始による費用の増加により、営業利益は前年同期を大きく下回りました。

●売上高	910億18百万円	(前年同期比	1.3%減)
●営業利益	72億43百万円	(前年同期比	13.9%減)

b. ワコール事業（海外）

ワコールインターナショナル（アメリカ）につきましては、売上面では、主力のワコールブランドを中心にアメリカ国内の百貨店が堅調に推移したことに加え、自社ECサイトを含むECマース全体の伸長が売上を牽引しました。これらにより全体の売上は、現地通貨ベースでは前年同期を上回りましたが、邦貨換算ベースでは前年同期を大きく下回りました。利益面では、当社の価格政策による店頭値引きの減少と製造費用の抑制により、売上利益率が改善しました。加えて、PR費などの抑制に努めたものの人件費の増加により、営業利益は前年同期を下回りました。

ワコールヨーロッパにつきましては、売上面では、英国は百貨店が苦戦した反面、専門店・ECサイトは好調でした。また、ユーロ圏も更生手続きに伴って売却した事業の影響を除き、既存ブランドは引き続き堅調に推移しました。併せてポンド安の影響により、北米やユーロ圏の売上が嵩上げされ、全体の売上は現地通貨ベース（ポンド）では前年同期を上回りました。しかし、邦貨換算ベースでは前年同期を大きく下回りました。利益面では、第2四半期迄に計上した子会社の更生手続関連費用が影響し営業損失となりました。

中国ワコールにつきましては、売上面では、主力の百貨店は既存店については堅調に推移しましたが、内陸部を中心に取扱い店舗数が減少しました。また、中間層向けブランド『LA ROSABELLE（ラ・ロッサベル）』も、新規出店の凍結や不採算店舗を閉鎖した結果、全体の売上は前年同期並みとなりました。しかし、邦貨換算ベースでは前年同期を大きく下回りました。利益面では、店頭値引きによる売上利益率の低下に加え、人件費の増加により営業利益は前年同期を大きく下回りました。

以上の結果、ワコール事業（海外）セグメント全体は、邦貨換算ベースにおいて売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

●売上高	363億55百万円	(前年同期比	7.6%減)
●営業利益	28億53百万円	(前年同期比	21.5%減)

c. ピーチ・ジョン事業

株式会社ピーチ・ジョンにつきましては、国内直営店は、既存店を中心に順調に推移し、また、他社ECサイトも大幅に伸長しました。しかしながら、通信販売は、サイトリニューアル後訪問者数は増加し、新規顧客も徐々に増加しているものの、既存顧客の減少が影響し、前年同期を大幅に下回りました。一方、海外子会社は香港の直営店が好調だったことに加え、中国も大きく売上を伸ばしました。

以上の結果、ピーチ・ジョン事業セグメント全体の売上高は、前年同期並みとなりました。利益面については、為替の影響により売上利益率が改善されたことに加え、カタログの製作費や発送費の削減、中国子会社の黒字転換が寄与し、営業利益が前年同期を大きく上回りました。

●売上高	84億50百万円	(前年同期比	0.3%増)
●営業利益	5億13百万円	(前年同期比	16.6%増)

d. その他

株式会社ルシアンにつきましては、主力のインナー事業部やマテリアル事業部が堅調に推移しましたが、アート・ホビー事業部が苦戦し、ルシアン全体の売上は前年同期を下回りました。利益面については、為替の影響と併せて、納入単価の引き上げや高収益商品の売上構成比が高まったことなどにより売上利益率が大きく上昇し、前年同期の営業損失から大幅に改善しました。

株式会社七彩につきましては、レンタル事業については、既存取引先の店舗閉鎖分を催事などの短期物件だけでは補いきれず、前年同期を下回りました。また、工事業については、予定されていた改装や新規出店の着工延期などにより受注が減少し、併せて物販事業も、前年の大型受注実績の反動により売上が大きく減少しました。これらの結果、全体の売上は前年同期を大きく下回りました。利益面についても、売上の減少とともに工事業の売上構成比が高くなったことで売上利益率が低下し、営業損失となりました。

以上の結果、その他セグメント全体は、売上高は前年同期を下回りましたが、営業利益は前年同期を大幅に上回りました。

●売上高	131億96百万円	(前年同期比 5.9%減)
●営業利益	5億66百万円	(前年同期比181.6%増)

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債、株主資本等の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び現金同等物や投資の増加などにより、前連結会計年度末に比して21億40百万円増加し、2,949億94百万円となりました。

負債の部は、短期借入金や未払給料及び賞与が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比して4億10百万円減少し、630億43百万円となりました。

株主資本は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比して29億43百万円増加し、2,273億17百万円となりました。

以上の結果により、当第3四半期連結会計期間末における株主資本比率は、前連結会計年度末に比して0.5%増加し、77.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して68億47百万円増加し、409億6百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益122億39百万円に減価償却費や繰延税金などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、167億51百万円の収入（前年同期に比し47億51百万円の収入増）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却収入があったものの、有形固定資産や無形固定資産の取得などにより、11億78百万円の支出（前年同期に比し48億33百万円の支出減）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払や自己株式の取得などにより、87億74百万円の支出（前年同期に比し33億49百万円の支出増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想数値につきましては、平成28年10月31日に修正した連結業績予想数値からの変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)	増減金額
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動資産			
現金及び現金同等物	34,059	40,906	6,847
定期預金	2,131	2,447	316
有価証券	1,880	1,952	72
売掛債権	26,936	23,069	△ 3,867
返品調整引当金及び貸倒引当金	△ 2,229	△ 2,699	△ 470
たな卸資産	44,445	43,417	△ 1,028
繰延税金資産	3,832	3,539	△ 293
その他の流動資産	5,797	4,301	△ 1,496
流動資産合計	116,851	116,932	81
II. 有形固定資産			
土地	21,677	21,526	△ 151
建物及び構築物	65,056	72,352	7,296
機械装置及び工具器具備品等	17,552	17,544	△ 8
建設仮勘定	5,419	336	△ 5,083
	109,704	111,758	2,054
減価償却累計額	△ 55,766	△ 56,879	△ 1,113
有形固定資産合計	53,938	54,879	941
III. その他の資産			
関連会社投資	20,713	19,991	△ 722
投資	56,021	59,760	3,739
のれん	17,911	16,287	△ 1,624
その他の無形固定資産	12,112	11,733	△ 379
前払年金費用	8,145	8,459	314
繰延税金資産	1,036	1,038	2
その他	6,127	5,915	△ 212
その他の資産合計	122,065	123,183	1,118
資産合計	292,854	294,994	2,140

科 目	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)	増減金額
(負債の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動負債			
短期借入金	11,759	9,993	△ 1,766
買掛債務			
支払手形	1,431	1,622	191
買掛金	12,017	11,525	△ 492
未払金	6,106	5,523	△ 583
	19,554	18,670	△ 884
未払給料及び賞与	7,152	5,523	△ 1,629
未払税金	711	3,299	2,588
その他の流動負債	5,167	5,973	806
流動負債合計	44,343	43,458	△ 885
II. 固定負債			
退職給付に係る負債	1,703	1,669	△ 34
繰延税金負債	15,588	16,345	757
その他の固定負債	1,819	1,571	△ 248
固定負債合計	19,110	19,585	475
負債合計	63,453	63,043	△ 410
(資本の部)			
I. 資本金	13,260	13,260	—
II. 資本剰余金	29,686	29,710	24
III. 利益剰余金	162,196	169,628	7,432
IV. その他の包括損益累計額			
為替換算調整勘定	5,177	402	△ 4,775
未実現有価証券評価損益	17,966	20,879	2,913
年金債務調整勘定	△ 1,035	△ 1,175	△ 140
V. 自己株式	△ 2,876	△ 5,387	△ 2,511
株主資本合計	224,374	227,317	2,943
VI. 非支配持分	5,027	4,634	△ 393
資本合計	229,401	231,951	2,550
負債及び資本合計	292,854	294,994	2,140

(2) 四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		増減金額
	百万円	%	百万円	%	
I. 売上高	154,017	100.0	149,019	100.0	△ 4,998
II. 営業費用					
売上原価	71,367	46.4	69,277	46.5	△ 2,090
販売費及び一般管理費	69,958	45.4	68,567	46.0	△ 1,391
営業費用合計	141,325	91.8	137,844	92.5	△ 3,481
営業利益	12,692	8.2	11,175	7.5	△ 1,517
III. その他の収益・費用(△)					
受取利息	113		102		△ 11
支払利息	△ 55		△ 25		30
受取配当金	1,017		1,127		110
有価証券・投資売却 及び交換損益(純額)	90		458		368
有価証券・投資評価損益(純額)	△ 20		△ 2		18
固定資産売却益	—		3,770		3,770
その他の損益(純額)	376		△ 62		△ 438
その他の収益・費用合計	1,521	1.0	5,368	3.6	3,847
税引前四半期純利益	14,213	9.2	16,543	11.1	2,330
法人税等	4,900	3.2	5,556	3.7	656
持分法による投資損益調整前 四半期純利益	9,313	6.0	10,987	7.4	1,674
持分法による投資損益	1,001	0.7	1,252	0.8	251
四半期純利益	10,314	6.7	12,239	8.2	1,925
非支配持分帰属損益	△ 287	△ 0.2	△ 154	△ 0.1	133
当社株主に帰属する四半期純利益	10,027	6.5	12,085	8.1	2,058

(3) 四半期連結包括損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		増減金額
	百万円		百万円		
I. 四半期純利益	10,314		12,239		1,925
II. その他の包括損益					
— 税効果調整後					
為替換算調整勘定	△ 1,507		△ 5,186		△ 3,679
未実現有価証券評価損益	1,811		2,921		1,110
年金債務調整勘定	△ 480		△ 140		340
その他の包括損益 合計	△ 176		△ 2,405		△ 2,229
四半期包括損益	10,138		9,834		△ 304
非支配持分帰属四半期包括損益	△ 264		249		513
当社株主に帰属する四半期包括損益	9,874		10,083		209

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 平成27年 4月 1日 至 平成27年12月31日)	(自 平成28年 4月 1日 至 平成28年12月31日)
	百万円	百万円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 四半期純利益	10,314	12,239
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	3,508	3,686
(2)返品調整引当金及び貸倒引当金(純額)	468	459
(3)繰延税金	1,967	118
(4)固定資産除売却損益(純額)	△ 69	△ 3,575
(5)有価証券・投資売却及び交換損益(純額)	△ 90	△ 458
(6)有価証券・投資評価損益(純額)	20	2
(7)持分法による投資損益(受取配当金控除後)	△ 246	△ 751
(8)資産及び負債の増減		
売掛債権の減少	2,700	3,237
たな卸資産の増加	△ 1,920	△ 274
その他の流動資産等の減少(△増加)	△ 1,226	1,312
買掛債務の減少	△ 1,258	△ 1,352
退職給付に係る負債の減少	△ 1,849	△ 515
その他の負債等の増加(△減少)	△ 493	2,303
(9)その他	174	320
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,000	16,751
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の増加額	△ 2,223	△ 2,456
2. 定期預金の減少額	2,444	2,165
3. 有価証券の売却及び償還収入	1,126	692
4. 有価証券の取得	△ 534	△ 295
5. 有形固定資産の売却収入	366	3,553
6. 有形固定資産の取得	△ 4,813	△ 3,905
7. 無形固定資産の取得	△ 1,107	△ 1,371
8. 投資の売却収入	237	833
9. 投資の取得	△ 522	△ 272
10. その他	△ 985	△ 122
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,011	△ 1,178
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額	3,580	△ 1,391
2. 長期債務による調達	—	250
3. 長期債務の返済	△ 4,570	△ 293
4. 自己株式の取得	△ 4	△ 2,548
5. 当社株主への配当金支払額	△ 4,225	△ 4,648
6. 非支配持分への配当金支払額	△ 206	△ 167
7. その他	0	23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,425	△ 8,774
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 34	48
V. 現金及び現金同等物の増減額	530	6,847
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	38,410	34,059
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	38,940	40,906

補足情報

現金支払額		
利息	56	25
法人税等	5,297	2,254
現金支出を伴わない投資活動		
固定資産の取得価額	617	958

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、市場買付により自己株式2,300千株を、総額2,544百万円にて取得しました。この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己株式の残高は、前連結会計年度末に比して2,511百万円増加し、5,387百万円となりました。

(セグメント情報等)

① オペレーティング・セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	92,213	39,355	8,424	14,025	154,017	—	154,017
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,222	6,658	575	4,554	13,009	△ 13,009	—
計	93,435	46,013	8,999	18,579	167,026	△ 13,009	154,017
営業利益	8,415	3,636	440	201	12,692	—	12,692

当第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	91,018	36,355	8,450	13,196	149,019	—	149,019
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	908	7,490	754	4,422	13,574	△ 13,574	—
計	91,926	43,845	9,204	17,618	162,593	△ 13,574	149,019
営業利益	7,243	2,853	513	566	11,175	—	11,175

(注) 各事業の主な製品

ワコール事業(国内)	… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レッグニット他
ワコール事業(海外)	… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レッグニット、その他繊維関連商品他
ピーチ・ジョン事業	… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア)、アウターウェア、その他繊維関連商品他
その他	… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、その他繊維関連商品、マネキン人形、店舗設計・施工他

② 地域別情報

前第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	114,391	13,558	26,068	154,017
構成比	74.3%	8.8%	16.9%	100.0%
営業利益	8,899	1,607	2,186	12,692

当第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	112,367	14,477	22,175	149,019
構成比	75.4%	9.7%	14.9%	100.0%
営業利益	8,072	1,893	1,210	11,175

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・オセアニア: 東アジア、東南アジア及び西アジア諸国、オーストラリア

欧米: 北米及びヨーロッパ諸国

3. 売上高は連結会社を所在地別に分類したものであります。

(6) 販売の状況

製品の種類		前第3四半期 自平成27年4月1日 至平成27年12月31日		当第3四半期 自平成28年4月1日 至平成28年12月31日		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
インナーウェア	ファンデーション ・ランジェリー	114,849	74.6	110,589	74.2	△ 4,260	△ 3.7
	ナイトウェア	7,470	4.9	7,233	4.9	△ 237	△ 3.2
	リトルインナー	1,086	0.7	1,151	0.8	65	6.0
	計	123,405	80.2	118,973	79.9	△ 4,432	△ 3.6
アウターウェア ・スポーツウェア等		14,928	9.7	13,467	9.0	△ 1,461	△ 9.8
レッグニット		1,711	1.1	1,724	1.2	13	0.8
その他繊維製品 及び関連製品		5,582	3.6	7,032	4.7	1,450	26.0
その他		8,391	5.4	7,823	5.2	△ 568	△ 6.8
合計		154,017	100.0	149,019	100.0	△ 4,998	△ 3.2